



報道発表

令和3年2月17日
東京税関
成田税関支署

令和2年の成田国際空港における不正薬物密輸入事犯の取締り状況

コロナ禍で入国旅客が激減の中、不正薬物の密輸入事件を39件摘発 大麻樹脂等（液状大麻等の大麻製品を含む。）の密輸が増加

令和2年中に摘発した不正薬物[※]の密輸入事件は、摘発件数39件、押収量約103kgであった。内訳は、覚醒剤14件/約83kg、大麻17件/約8.5kg、麻薬7件/約11.5kg、指定薬物1件/約0.02kgであった。

◎覚醒剤密輸事犯の動向

- ◆ 覚醒剤密輸入事件の摘発件数は14件（前年比：約10%）、押収量は約83kg（前年比：約21%）であった。
- ◆ 密輸形態別では、航空機旅客による摘発件数は9件、押収量は約21kgであり、航空貨物による摘発件数は5件、押収量は約62kgであった。
- ◆ 覚醒剤の仕出地は、メキシコ4件、香港3件、台湾2件、イラン2件、タイ1件、ベトナム1件、南アフリカ1件であった。
- ◆ 隠匿手口は、インスタントコーヒーやシャンプーに偽装したものや、ポリエステル樹脂に練り込むなど巧妙なものであった。

◎大麻密輸事犯の動向

- ◆ 大麻密輸入事件の摘発件数は17件（前年比：約121%）、押収量は約8.5kg（前年比：約73%）であった。うち、大麻樹脂等の摘発件数は12件（前年比：400%）、押収量は約5.5kg（前年比：約1,585%）であり、摘発件数、押収量共に急増した。
- ◆ 隠匿手口は、航空貨物の茶葉やオリーブオイルに偽装するなど巧妙なものがあつた。

◎麻薬密輸事犯の動向

- ◆ コカイン密輸入事件の摘発件数は6件（前年比：約40%）、押収量は約11kg（前年比：約44%）であった。

◎その他の密輸の動向

- ◆ 令和2年3月、タイからワシントン条約該当動物（フクロウ、サル等）を密輸入しようとした事犯を摘発。

※ 覚醒剤、大麻、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。

1. 成田国際空港における密輸事犯摘発状況一覧表

社会悪事犯		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	
							前年比
覚醒剤	件数	28	68	45	144	14	9.7%
	押収量(kg)	72	164	60	394	83	21.0%
	押収量(千錠)	-	0	0	-	0	全増
大麻 (樹脂含む)	件数	16	15	17	14	17	121.4%
	押収量(kg)	0	5	3	12	8	73.0%
あへん	件数	0	0	0	0	0	-
	押収量(kg)	-	-	-	-	-	-
麻薬	件数	10	3	15	27	7	25.9%
	押収量(千点)	-	0	11	37	-	全減
	押収量(kg)	24	3	16	26	11	44.2%
ヘロイン	件数	0	0	0	0	0	-
	押収量(kg)	-	-	-	-	-	-
コカイン	件数	3	1	8	15	6	40.0%
	押収量(kg)	24	3	14	26	11	44.4%
MDMA	件数	0	1	3	6	0	全減
	押収量(千錠)	-	0	11	37	-	全減
	押収量(kg)	-	-	0	0	-	全減
その他麻薬	件数	7	1	4	6	1	16.7%
	押収量(千点)	-	-	0	-	-	-
	押収量(kg)	0	0	2	0	0	2.7%
向精神薬	件数	1	1	1	0	0	-
	押収量(千錠)	0	-	3	-	-	-
	押収量(kg)	-	0	-	-	-	-
指定薬物	件数	8	1	16	5	1	20.0%
	押収量(kg)	0	0	0	7	0	0.3%
合計	件数	63	88	94	190	39	20.5%
	押収量(kg)	96	172	80	439	103	23.4%
	押収量(千点)	0	0	14	37	0	0.01%
銃砲類	件数	1	1	0	0	0	-
	押収量(丁)	1	1	0	0	0	-
総摘発件数		64	89	94	190	39	20.5%

* 1. 税関が摘発した密輸入事犯の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。

2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計数量を示す。

3. 大麻は、大麻草及び大麻樹脂等(液状大麻等の大麻製品を含む)の合計を示す。

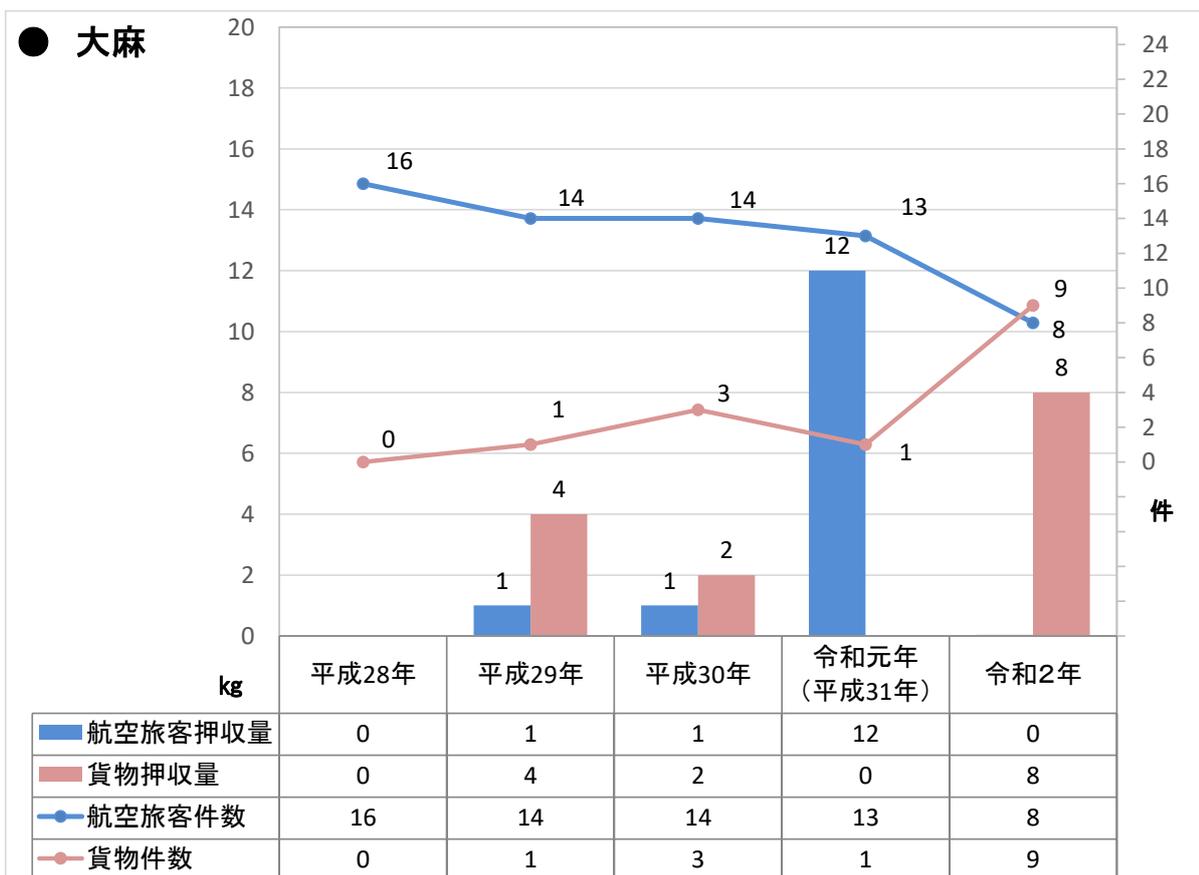
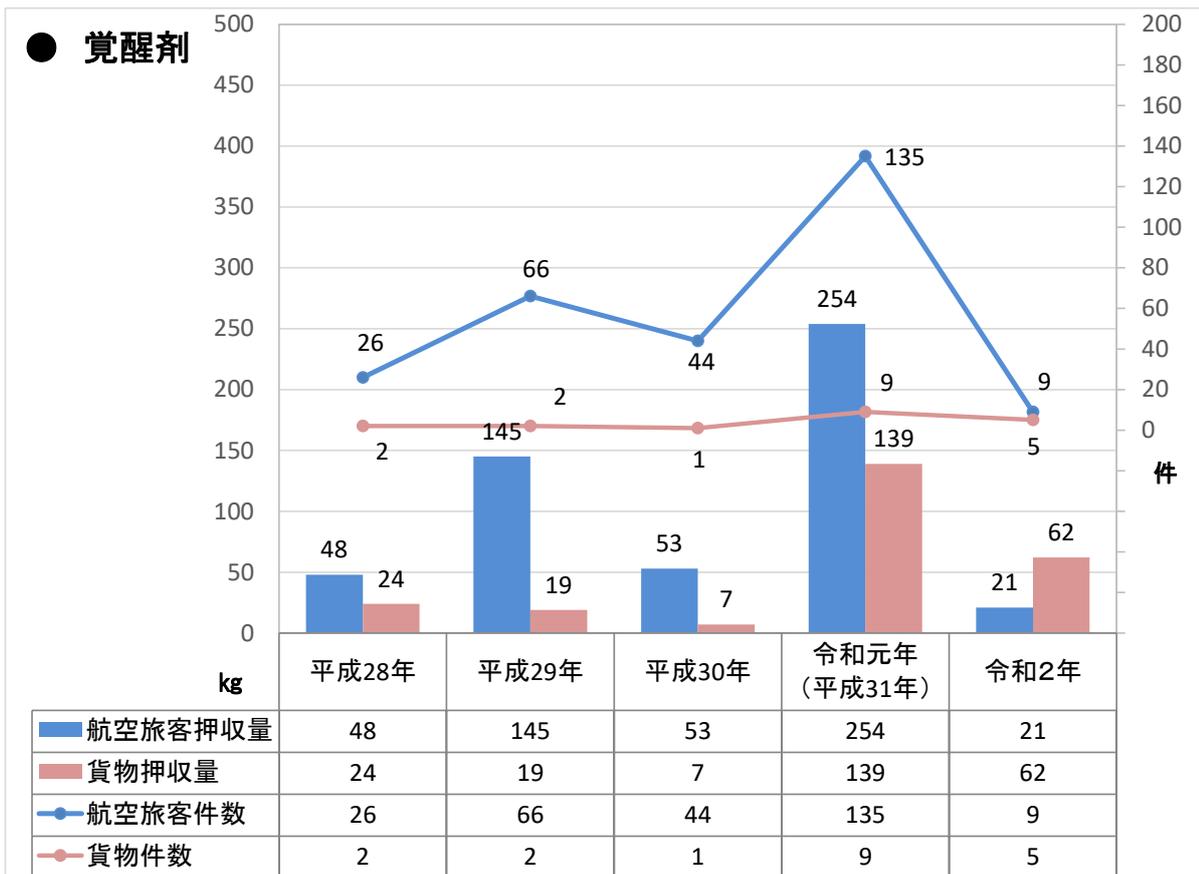
4. MDMAは、MDMA及びMDA等の合成麻薬の合計数量を示す。

5. 重量は、小数点以下を四捨五入した。

6. 令和2年の数値は速報値である。

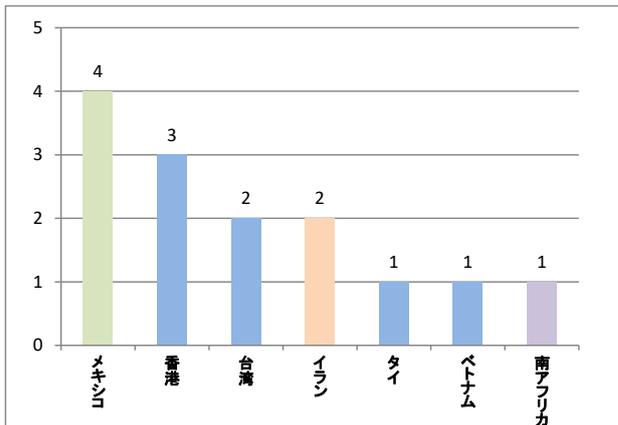
7. 薬物の数量表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
また、端数処理している為、比率や合計値が合わないことがある。

2. 形態別摘発状況(推移)



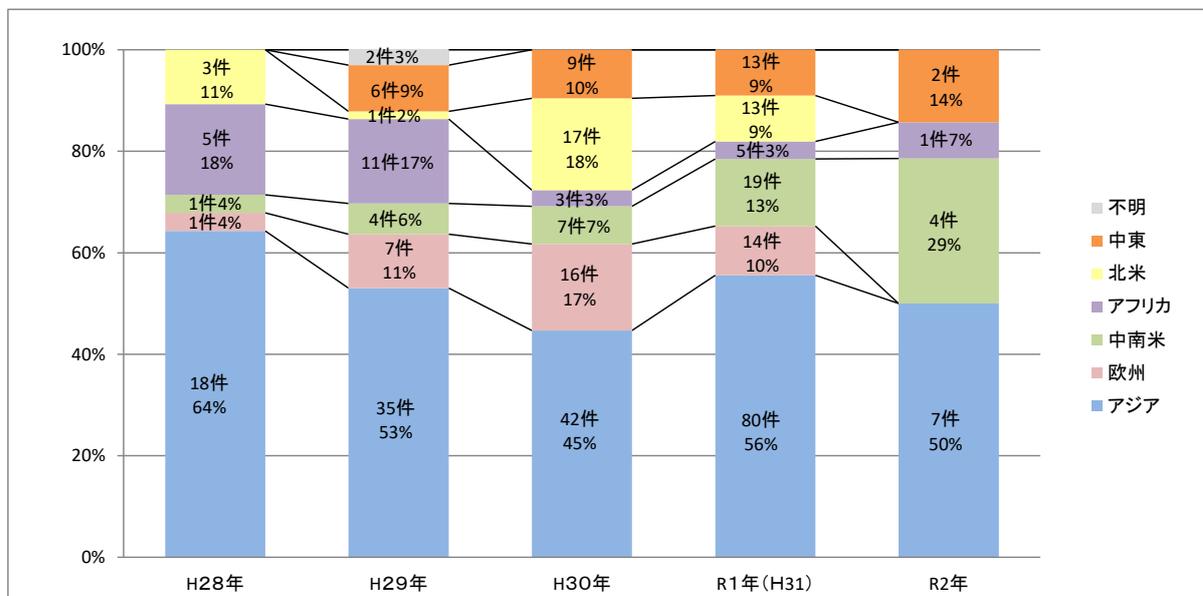
3. 覚醒剤の仕出地別摘発状況

●令和2年仕出地別摘発件数

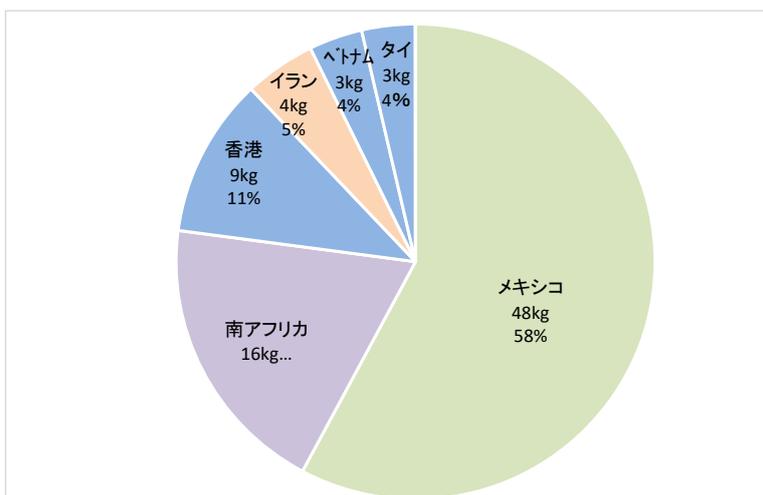


地域	国	件数
アジア (4か国・7件)	香港	3
	台湾	2
	タイ	1
	ベトナム	1
中東	イラン	2
中南米	メキシコ	4
アフリカ	南アフリカ	1
合計 14件		

●仕出地別摘発件数の推移



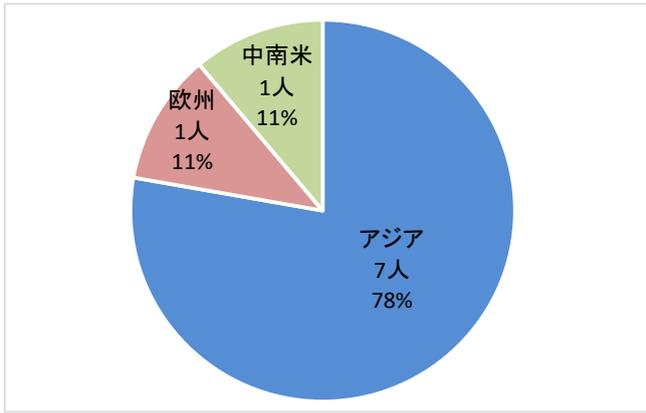
●仕出地別押収重量



地域	件数	総重量 (kg)
メキシコ	4件	48
南アフリカ	1件	16
香港	3件	9
イラン	2件	4
ベトナム	1件	3
タイ	1件	3
台湾	2件	0.007

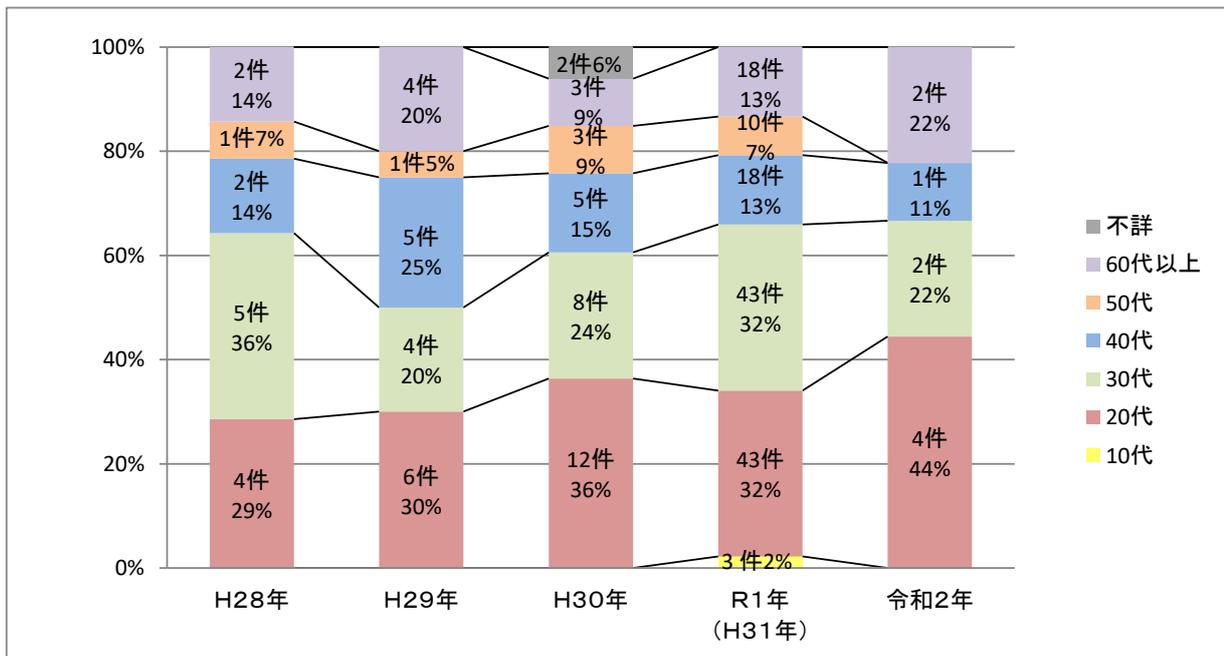
4. 覚醒剤密輸実行犯内訳【旅客】

●国籍別摘発状況



地域	国籍	人数
アジア (7人)	香港	4
	タイ	2
	日本	1
欧州 (1人)	ハンガリー	1
中南米 (1人)	メキシコ	1
合計		9人

●年代別摘発状況



税関イメージキャラクター カスタム君

5. 大麻摘発内訳(前年比)

●形態別摘発状況

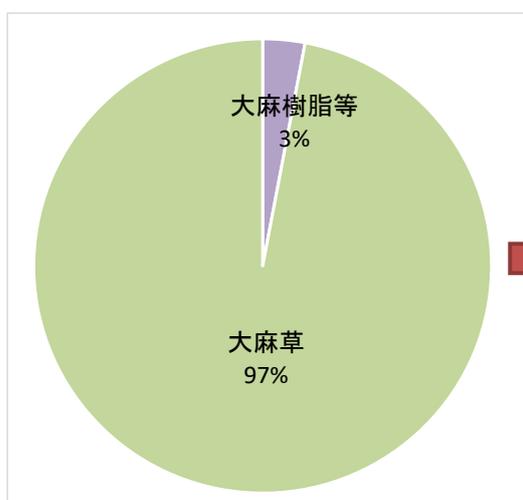
	平成31年 (令和元年)		令和2年		前年比	
	件数	数量(kg)	件数	数量(kg)	件数	数量
航空旅客	13	11	8	0	61.5%	0.3%
貨物	1	0	9	8	900.0%	3256.4%
合計	14	12	17	8	121.4%	73.0%

●大麻樹脂等の摘発状況

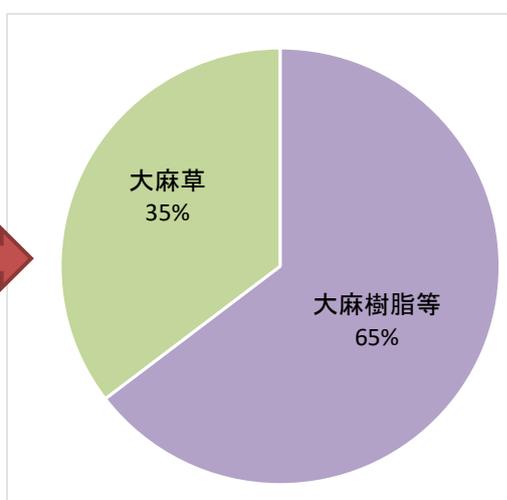
	平成31年 (令和元年)		令和2年		前年比	
	件数	数量(kg)	件数	数量(kg)	件数	数量
航空旅客	2	0	5	0	250.0%	27.2%
貨物	1	0	7	5	700.0%	2104.9%
合計	3	0	12	5	400.0%	1585.3%

●大麻樹脂等の占める割合(押収量)

平成31年(令和元年)



令和2年



6. 令和2年の密輸事犯の隠匿事例

① 覚醒剤

【隠匿事例1】

香港人20代女性からインスタントコーヒーに偽装していた約3kgの覚醒剤を相次いで発見。(令和2年1月)



単独入国



同行入国



- ・1人約120袋 計360袋
- ・1袋 約25グラム



【隠匿事例2】

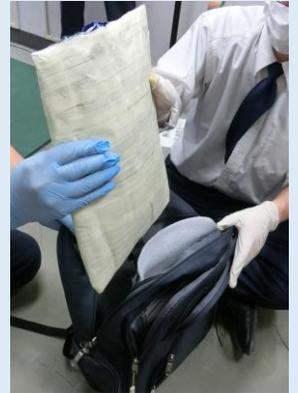
イラン来航空貨物からポリエステル樹脂に練り込まれた約2kgの覚醒剤を相次いで発見。(令和2年6月及び同年7月)



文字を並び替えると・・・

【隠匿事例3】

ベトナム来ハンガリー人女性60代からスーツケース及びリュックサックに隠匿されていた約3kgの覚醒剤を発見。（令和2年3月）



【隠匿事例4】

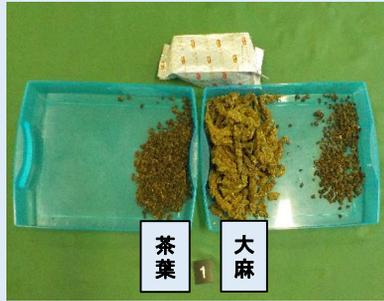
メキシコ来日本人男性60代からシャンプーに偽装された約3kgの覚醒剤を発見。（令和2年10月）



② 大麻

【隠匿事例5】

ベトナム来航空貨物から茶葉に偽装された約3kgの大麻草を発見。(令和2年9月)



【隠匿事例6】

アメリカ来日本人女性20代からポストンバッグ等に分散隠匿されていた大麻草、液状大麻及びコカインを発見。(令和2年10月)



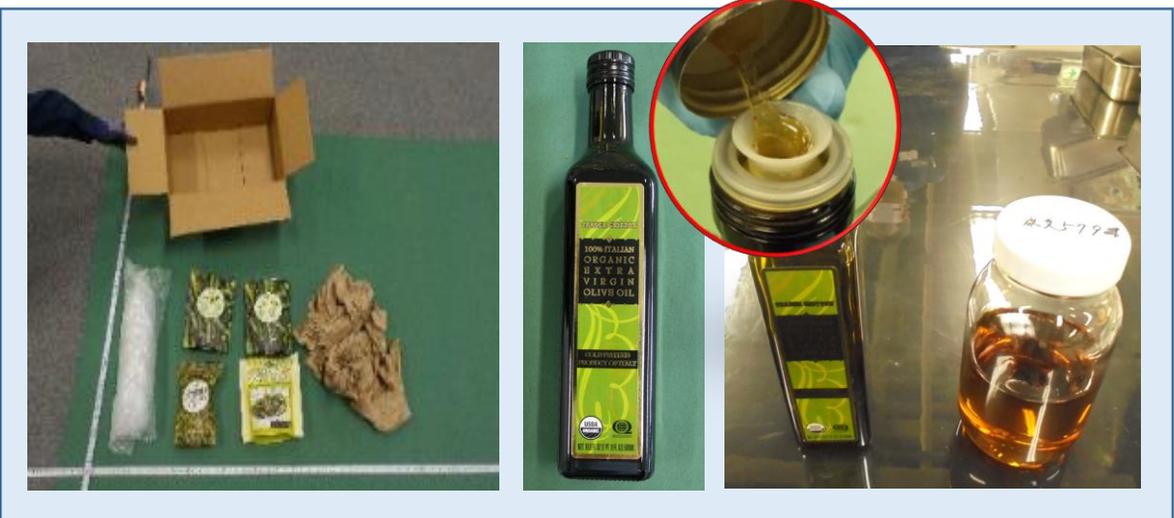
【隠匿事例7】

アメリカ来日本人男性20代からポーチ内に隠匿されていた2本の液状大麻を発見。
(令和2年10月)



【隠匿事例8】

アメリカ来航空貨物からオリーブオイルに偽装された約500gの液状大麻を相次いで
発見。(令和2年10月)



③ コカイン(麻薬)

【隠匿事例9】

ブラジル来アメリカ人女性50代から着用ブラジャーに隠匿されていた約2kgのコカインを発見。(令和2年2月)



【隠匿事例10】

ブラジル来カナダ人男性60代からスーツケースに隠匿されていた約5kgのコカインを発見。(令和2年2月)



【隠匿事例11】

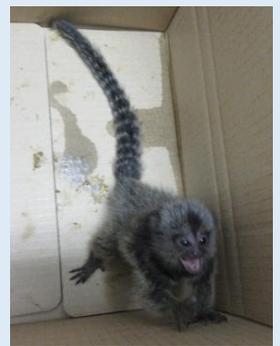
ブラジル来在日ブラジル人男性20代からスーツケースに隠匿されていた約2kgのコカインを発見。(令和2年11月)



④ワシントン条約該当動物

【隠匿事例12】

スーツケース内に隠匿されていたフクロウ、サル等を発見。



【隠匿事例13】

航空貨物に隠匿されていたサソリを発見。

